

NO.019
平成24年
7月2日

一如会だより

発行者：駒澤大学高等学校一如会
〒158-8577 東京都世田谷区上用賀1-17-12
TEL(03)3700-6131 FAX(03)3707-5689

平成24年度委員総会開催 ・・一如会設立30周年・・

5月26日(土)午後5時30分より、名誉会長及び顧問の方々のご臨席を賜り、ホテルハイアットリージェンシー東京に於て、平成24年度委員総会を開催し、平成23年度収支決算報告及び平成24年度予算案が承認されました。引き続き、旃檀会・同窓会の役員の方々をお招きし「一如会30周年記念懇親会」が盛大に行われました。

一如会発足30周年を迎えて



会長 成田孝英
(臨濟宗 桃林寺 住職)

早いもので、当会も30年の歴史を刻むことが出来ました。生徒達がより良い環境で勉学に励むことが出来る様にと、父兄の方々の支援により誕生しました。行学一如との趣旨に基づき、校舎及び勉学機器の設備の充実に貢献して参りました。より良い状態へと向かう当校の在り方は、生徒達に対して将来何らかの影響を与える素晴らしい結果をもたらすものと自負致します。



仏教を基本とする当校の建学精神に基づき、学業と修行、宗門関係の生徒の資格の付与、更にスポーツに邁進する子供達の姿には心を打たれます。

「禅」、達磨大師はインドより中国へと布教に訪れ面壁9年(9年間座禅を組んで悟りに達した)の努力の末の禅の教えを伝えられました。教外別伝(心から心へと伝える)、不立文字(体験により伝えるものこそ真髓)その教えの奥の奥を解明すべく日夜努力する事は本当に大切です。「行く雲、流れる水」一時としてとどまる事はありません。私共人間の細胞も時時刻刻、変化しています。「幼子の次第次第に知恵つきて仏に遠くなるぞ悲しき」そして老いが近づき、後悔先に立たず、気がついた時は手遅れです。現在は若くして元気一杯の若者でもすぐ先には老人となります。与えられた環境でベストを尽くして欲しいと思います。不平不満は何時の世でも有ります。刹那主義に陥らず一日一日を大切に、折角いただいた命を大切に今現在ここに存在している自分という者を見つめ直してこれからの人生を充実させて行く必要があると思います。

「行学一如」難しいですね。一步一步の努力。千里の道も一歩より。短かい人生か長い人生か、各々が判断して最善の道を歩む事が大切です。

「鉄は熱いうちに打て」若きは貴方がたの宝物です。





一如会 名誉会長
 学校長 鈴木貞雄

本校の教育環境や教育活動発展のために多大なるご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

今年、一如会は設立30周年を迎えました。学校を慕う温かい気持ちが一如会の運営に注がれ、今日に至っておりますことを誠に喜ばしく感謝申し上げます。

永きに渡り、教育活動後援事業費として教育施設設備の援助や校友会部活動の全国大会出場等への支援や補助など多方面への後援事業活動をしていただき教育成果をあげています。特にサッカー部の全国大会出場時のピックフラッグによる応援は脳裏から離れることはありません。在校生・卒業生のすばらしい思い出になっています。また、将来の校地の取得や校舎の建替え計画まで、学校発展のためにお力添えを頂き、まことにありがとうございます。

今後とも皆様の期待に応えられますよう教職員一丸となり学校運営に邁進致しますことを申し上げ、お祝いと御礼とさせていただきます。
 会員各位の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



平成 23 年度 事業報告

月 日	内 容	担 当
4. 7	平成 22 年度の監査 入学式列席 一如会パンフレットの配布 (新入生父母対象)	総務部 広報部
4. 23	一如会パンフレットの配布 (2・3 年生父母対象)	広報部
4. 29	委員総会案内の発送	総務部
5. 7	役員会	総務部
5. 26	委員総会・懇親会 於ホテルハイアットリージェンシー東京	総務部
6. 25	役員会	総務部
7. 1	一如会だより 発行・発送	広報部
10. 1	役員会	総務部
10. 1 2	駒大高祭参加	厚生部
10. 19	浅草散策 (会費 各自実費/ランチ・拝観料等)	厚生部
12. 3	役員会	総務部
12. 3	忘年会 午後 6 時より南国酒家 迎賓館 花梨にて (原宿駅より徒歩 1 分 表参道沿い 会費 9,000 円)	厚生部
12. 16	新卒業生父母への活動案内発送	総務部
1. 21	役員会	総務部
2. 15	新卒業生父母への委員募集 (活動協力カード) 案内発送	総務部
3. 8	卒業式列席 (会長)	総務部
3. 24	役員会	総務部

総務部・厚生部・広報部の各部会は必要に応じて、随時開催

教育活動後援事業

第一情報処理室空調機更新工事
 (学校教育活動後援事業費支出 予算額 3,000,000円)

平成 24 年度 事業計画

月 日	内 容	担 当
4. 7	平成 23 年度の監査 入学式列席 一如会パンフレットの配布（新入生父母対象）	総務部 広報部
4. 21	一如会パンフレットの配布（2・3年生父母対象）	広報部
4. 27	委員総会案内の発送	総務部
5. 26	委員総会・懇親会 於ホテルハイアットリージェンシー東京	総務部
6. 23	役員会	総務部
7. 2	一如会だより 発行・発送	広報部
9. 29 30	駒大高祭参加	厚生部
10. 21	能を知る会	厚生部
11. 17	役員会	総務部
12. 1	忘年会 午後6時半より帝国ホテルにて (会費 10,000 円)	厚生部
12. 15	新卒業生父母への活動案内発送	総務部
1. 26	役員会	総務部
2. 15	新卒業生父母への委員募集（活動協力カード）案内発送	総務部
3. 8	卒業式列席（会長）	総務部
3. 23	役員会	総務部

総務部・厚生部・広報部の各部会は必要に応じて、随時開催

教育活動後援事業

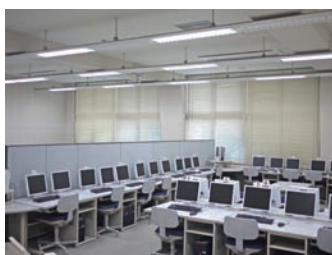
本館空調機更新工事補助
(学校教育活動後援事業費支出 予算額 3,000,000円)

学校教育活動後援事業

一如会では、短期的には在校生のため情報処理室の充実や、教育教材の助成等を行っています。長期的には学校の校舎改築等の援助のために、学校教育活動後援基金として積立っています。

平成 23 年度 後援事業

第一情報処理室の空調機（エアコン）の更新工事補助として、300 万円支出しました。



教職員退職者

平成 23 年度

(敬称略)

中島勝彦(数学)
小島悠八(地歴)
宮林健二(地歴)
井上保広(数学)
涌井清(体育)
高木恒一(地歴)
白倉新治郎(元事務長)

計 報

幸前芳孝先生が去る三月十五日(逝去)されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



一如会 30 年を振り返って



一如会創立 30 周年に因んで



顧問（初代会長）
大村宣雄
（豊嶋山道場寺 東堂）

戦後、昭和 23 年 4 月 1 日駒澤大学高等学校は、新設開校されて早や 60 年以上の歴史を刻んで来ました。一如会は、私の長男が卒業した後の昭和 57 年に当時 P T A の活動が活発であった事もあり、子弟が卒業後も本校の発展充実に貢献しようと、父母の会の固い結束の下、多くの方々のご協力に依り立ち上げ、本年は 30 周年を迎えられ、誠に喜ばしい限りであります。

私の母校駒澤大学の校歌は、日本の誇りである、北原白秋 作詞・山田耕筰 作曲による素晴らしい校歌であり、それが駒大高校の校歌にもなっております。私も学生時代、胸を張り歌い続け、今でも心打たれる歌詞であります。

1. 新人立てり 立てり 竹は波うつ

晴れたり この空 この我が駒澤…

2 番、3 番と感動を覚えますが、特に 3 番に「信誠敬愛自ら閃く（ひらめく）」という詞は私個人として好きな詞であります。

本、24 年 3 月卒業した孫に聞いたところ、現在では 1 番か 2 番までで、3 番は歌わないとの事。

新しく入学した生徒には是非、希望・現実・開拓の精神・飛躍・愛校心等をこの校歌を通して教育して頂く事を切に願い、更に一如会が発展するよう期待し、祝賀の言葉とさせていただきます。 合掌

回 想



顧問（前会長）
鳥澤俊寛
（泉秋寺 住職）

今ここに輝ける一如会設立 30 周年の寄稿に際し、現在に至る迄の誌し事が走馬燈の如く私の脳裏を駆け巡り、改めて時の流れ・時代の変換を実感せずには居られません。

設立時、羽住 奎校長先生代の教頭・和田実正先生（故人）を中心に昭和 57 年 7 月・学校の近況報告の趣旨を眼目に、子弟在学時に委員活動をお努めであった父母懇親の任意の集まりであったと、昭和 63 年駒大高校創立 40 周年記念誌に寄稿されました大村宣雄氏の回顧記述に拝見することができます。

爾後、時を経て会則等も制定され徐々に組織も形成され、現今は委員に限らず、年度卒業生の保護者の方々のご加入を戴いております。

初代会長大村宣雄氏、二代会長野口貢氏（在任中にご逝去）引き続き、南雲安幸氏に会長代行としてご尽力を戴き、三代目を不肖私が務めさせて戴き、昨年 5 月の委員総会に於いて、四代会長として成田孝英氏にご就任戴きました。私こと任時、満足に進行できたか否かと反省頻りの思いと共に、役員委員の方々には、つい最近迄、交通費・食事等も自弁にての献身的なご奉仕とご努力には頭の下がる思いでございます。組織運営も軌道にのり、会員各位のご理解とご協力のもと、会員数も現在 7344 名にのぼり誠にこころ強い限りであり、学校教育後援組織として同窓会・旃檀会と共に、3 本の強力な矢としてその一端を担っている現況に、会員としての誇りと共に慶びに堪えません。

今茲に周年を迎えられるに際し、先人の方々の弛まぬご努力と英知の結晶に対し、改めて敬意を表するものであります。

今後共、強力なる「絆」と相互信頼の「和」を大切に、益々の充実と会の更なる発展を心より願うものであります。



一如会 30 年を振り返って



30周年を迎えて



顧問（元学校長）
羽住 奎

おめでとうございます。一如会発足数年前から、P T A・体育後援会の役員の方々から退任後も時々会える O B 会を設立したいとの強い要望があり、当時教頭職の小生や和田教務主任等と設立にむけ、歴代会長さんとともに、会の目的や規約の検討等に努めたことを記憶しております。

翌 58 年には独立の運営活動をしていた P T A・体育後援会が、発展的統合を果たし一元化され 旃檀会と改称し今日にいたる充実と発展をみているのも一如会の発足の影響が大きかったと思います。

創立 40 周年に際しては、貴会は旃檀会とともに近代的設備と教育施設充実のための新館別館建設の記念事業に協賛され、多大なご理解とご後援を賜ったことを忘れることはできません。

貴会が卒業生保護者の懇親交流の場として逐年発展の様子を仄聞き欣快の至りであり、今後とも貴会が設立の意義目的を継承され、ますます会員に愛され親しまれますよう心からご祈念いたします。

一如会 30 周年に



顧問（前学校長）
浦 敏之

一如会 30 周年おめでとうございます。

退職してこの 3 年間は在職中のことを何かにつけて思い出される。駒大高校で成長させていただいたことに感謝している。生徒と保護者のおかげである。生徒には日々多くのことを教えられた。

先日、ソロで歌手活動をしている小栗慎介君のコンサートを聴きに行った。事務所に所属せず、名声を求めず、心から歌を愛し表現する感動的な会であった。

ひっそりと、しかしはっきりと自己主張をする小さな花々が路端に、山野に咲き乱れる時期となり、うきうきしている。

カタクリを見に行ったが数株だけ咲いていた。カタクリは花をつけるまでに 7~9 年かかる。1 年目は楊枝のような茎が出て終わる。毎年毎年少しずつ根を大きくする。カタクリの花は知っていたが、これほど時間をかけて成長することは今年になって初めて知った。子供を育てることと同じだと感じた。

最近の社会は促成栽培的なことが多く、お金も一攫千金を求めるが、もっとゆっくりしっかりと地に足をつけた社会にしたい。

一如会 30年を振り返って



一如会 元事務局長
柚木 一征

一如会の再生

30周年に際して、一如会再生の過程を振り返り、今後の会運営の一助となればと思ひながら古い記録や手帳を紐解いてみた。

1982年（昭和57年）7月に設立された一如会、そこへ新しい息吹を吹き込みその再生を発案されたのは和田先生（元校長）であった。卒業生父母の全員加入という周りに類を見ない組織への改革を1997年（平成9年）暮に着手されたが、あまりの理想の高さゆえに周囲になかなか受け入れ難かった。その様な状況下で先生から事務局長を依頼された1999年（平成11年）の春、苦難の日々が始まった。

当時の一如会は、何故か学校において厄介者扱いの対象であり、孤立無援の中で私がまず取り組んだのは、細かな説明を好まれない和田先生と徹底的な意志疎通を図りながら、私なりに納得できる大義を見出す事であった。

二つ目は、一如会存在の意義を学校に理解して頂き、且つ運営に関する事務処理等について協力を求める交渉であり、それと共に周囲の反発を和らげるために、和田先生に二歩も三歩も後ろに退いて頂き私自身が矢面に立つことだった。

三つ目に、当時の実質的運営を担っていた事務局を廃止して本来の役員会を機能させ、3部を創設する組織化であった。これは、発案者の理想の形を大幅に軌道修正したものであったが、曲りなりにも一如会を定着させるための私なりの苦肉の策であると同時に、集団運営体制とすることにより学校にも一定の理解を得て、一如会担当の先生を置いてもらう等のための緊急避難策にも似た対応であった。

以上の作業を2年余りという短期間で成し得たのは、旧一如会の役員の皆様方のご協力と、誹謗中傷に耐えながら手弁当で共に戦ってくれた事務局同志の努力の賜物である。また和田先生の急死は、後日談によると学校としては一如会消滅と捉えていたらしいが、学校の期待とは裏腹に私にとっては、中央突破して一気に一如会の組織化を断行する大きなエネルギー源であった。

今日、無事に30周年を迎えられたのは、物心両面において支えて頂いた歴代の会長、特に優しく見守って下さった大村初代会長、組織化の直後その成果を見られずに急逝された野口会長、組織化後その定着のために長年に渡り多大なご尽力頂いた鳥澤会長、また私心を捨て歴代の役員会を支えて頂いたお一人お一人の力の結集に他ならない。

これら多くの方々の労に報いるために、今後の賢明な方々の運営による大きな成果を期待したい。特に、巷に蔓延する白アリに食い荒らされることの無いように、時代に即した資金運用や活動内容の見直しに留意されることを期待するものである。

メッセージ



- これからも一如会の会員の交流が永く続いて欲しいと願っています。（津田 晶子 副会長）
- 一如会はいろいろな年代の方の集まりです。その年代を越えて絆を作り、新しい風を入れつつずっと繋がって行って欲しいと願っています。（玉川 孝子 副会長）
- 卒業した後も学校の為に支えて下さる事は有難いです。これからも本校の発展にお力添え下さい。（貫井 洋 副会長 教頭）
- 「温故知新」学校に来た時から好きな言葉です。（昔の事を勉強し大切にして、新しい道理を見つけて行く。）（城 英彦 会計）
- 一如会がしっかりと確実に根を張り広がっている事が嬉しく思います。（鈴木 優子 会計）

「笑点」でお馴染みの 落語家(家入信夫氏)が来場!



一如会の会員である好楽師匠が、一如会30周年記念懇親会に駆けつけてくれました。会は笑いの渦で大いに盛り上がりました。

御子息の三遊亭王楽(家入一夫氏 35歳)は、駒大高校から駒大文学部英文科に入学。円楽一門会に所属しています。

好楽師匠は、毎週日曜・夕方に放送されている長寿番組「笑点」(寄席風の演芸番組)でレギュラーとして活躍中。王楽も不定期に出演しています。

「絆の森」に一如会も記念植樹



駒大高校と長野県信濃町柏原地区の間で交わされている森林の里親契約。都会の高校生に、道の駅横にある町区所有の森を自由に使ってもらおうというもので「森林づくり・絆の森」と名づけられています。

毎年、駒大高校の1年生がこの森を訪れ森林作業を体験しています。

一如会30周年に因んで「絆の森」に記念として、桜の木を植樹することに致しました。(桜の木には、一如会の標示を致します。)



能 楽師 中森貫太師にインタビュー (鎌倉能舞台業務理事)



一如会30周年記念懇親会にて

一如会30周年おめでとうございます。

今年10月21日に、私共が国立能楽堂で公演致します。野村萬齋さんも出演されますし、見どころがいっぱいあります。「能」というと難しいと考えがちですが、私が楽しく分かりやすく解説させて頂きます。ぜひ、この機会に、日本の文化に触れてみて下さい。

一如会設立の理念

一如会とは、一般に言われる学校後援会と同じ組織のことです。昭和57年に設立され、現在の会員数は約7344名です。施檀会(PTA)・同窓会(OB会)と共に駒澤大学高等学校を支援しています。

子供の母校の発展を願い、その為の後援活動に尽力することはもとより、子供を通じて知り合った親どうしの一期一会を大切にしていきたい。その思いを相互扶助という形で実践できる風土を駒澤大学高等学校の中に築き上げていきたいと願っています。

★ **活躍** 駒大高校の名が全国に
放映されました。

陸上競技部3年生高月智生くん

1月22日に行われた天皇杯全国都道府県対抗駅伝において、東京都高校生代表として5区を走りました。

東京都の総合結果は第2位でした



駒大高祭

9月29日(土)~30日(日)

いらいませ!

COFFEE



休憩室…本館一階会議室
茶菓子の無料サービスを行っております。
ぜひお立ち寄り下さい。



新館二階 第一 AV 教室
ビックリ市 10:30~14:30

旗禮会恒例のバザーが開催
されます。こちらへも、お立
ち寄り下さい。また、バザー
の物品のご寄贈も受け付け
ております。右記事務局まで
ご郵送下さい。
よろしく願いたします。

駒澤大学高等学校
一如会ビックリ市係

〒158-8577
東京都世田谷区上用賀 1-17-12
Tel 03-3700-6131
締め切り：9月中旬

忘年会

日時：12月1日(土) 午後6時30分

会場：帝国ホテル 2F「菊の間」

Tel (03) 3504-1111 (代表)

会費：10,000円

申し込み締め切り：11月5日(月)



能を知る会



- 狂言 (ほうしぼり) **棒縛**
- 仕舞 (こかじ) **小鍛冶**
- 能 (ふなべんけい) **船弁慶**
重キ前後之替 舟歌

一般の方は
お申し込み
できません



日時：10月21日(日) 午前11時
正面玄関入口中(一如会専用受付)

会場：国立能楽堂

〔JR・千駄ヶ谷駅 徒歩5分
大江戸線・国立競技場駅 徒歩5分〕

会費：10,000円 受付時にお支払い下さい
(指定席料・昼食代・特別解説費を含む)

人数：35名(先着順)

申し込み締め切り：7月20日(金)

〈スケジュール〉

11:00 集合 正面玄関中・一如会専用受付
(時間厳守にてお願いします)

11:30 ☆ 一如会の皆様だけに、公演前の
出演者による特別解説

「能への誘い」中森 貫太師 (鎌倉能舞台理事)
会場・食堂「向日葵(ひまわり)」

12:00 休憩(昼食)

13:00 講演「歌舞伎と能」葛西 聖司氏
元NHKの名アナウンサー。日本の伝統芸
能を楽しく分かりやすく伝えている。

開演

16:30 終了予定

一如会ホームページ

<http://komakou-ichinyokai.net/>

※「一如会だより」等の閲覧ができます。(各種申し込みには対応していません)

各種申し込み先：一如会事務局 Tel (03) 3700-6131

ご家族・お友達お誘い合わせの上、多数のご参加お待ちしております
担当 厚生部